

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護支援サポーター事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	意図	高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進を図る。
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65歳以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんWAONカードポイントに交換できる制度である。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月1日から高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防の取組みを推進することを目的に事業がスタートした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	介護支援サポーター登録者数	92	77	47	人	↑↑↑	登録者
②	累計登録者数	568	621	633	人	↑↑↑		
③	活動者数	254	220	245	人	↑↑↑	活動実績のある方	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は、5回の制度説明会と5回の介護支援サポーター養成講座を実施した。今年度の介護支援サポーターの登録者は47名となった。 サポーターのスキルアップ向上やサポーター同士の交流を目的としたフォローアップ講座を計4回開催した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		12,549,865	11,134,213	11,145,736				
事業費(b)(円)		9,117,365	9,120,613	9,168,136				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		3,432,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.50	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	活動者を増やしていくため引き続き養成講座を実施していき、フォローアップについては活動を続けてもらえるような内容を検討する。	③取組における課題(Check)	活動率が低下しているため、市民へのPRの機会を増やし、活動に繋げるための取組みや活動率を上げるための協議を受託事業者と行う。
②H30に実施した取組(Do)	広報で周知をした。フォローアップ講座では活動者と未活動者の交流会や、サポーターと受入機関職員との座談会を設け、サポーター活動に繋がるような内容とした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	ゆうゆう大学に出向き養成講座を行う。また、土曜日にも養成講座を実施する。未活動者を活動に繋げることや活動率を上げるため、定期的に受託事業者との協議をしていく。